

# 第6回 コロキウムのお知らせ

## 糖鎖生命システム融合研究所

本研究所では生命科学分野と情報科学分野の融合研究を行うことによって、糖鎖が関わる生命現象の本質の理解を目指しています。

様々な分野の専門家が所属する本研究所では、研究の相互理解を深めるため勉強会を開催する運びとなりました。

多くの理工学部先生方および学生の皆様にもご参加いただき、本研究所の研究を知っていただく機会になればと存じます。

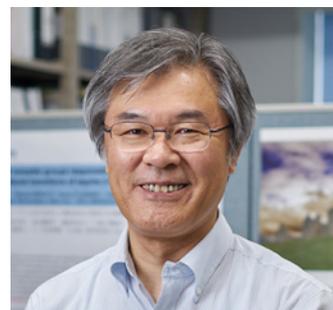
日時: 3月11日(金) 16:35-18:05

開催方法: オンライン開催

### 「自己組織化 ～時間軸上への展開～」

 池口 雅道 先生

生物は精密な分子機械と捉えることができるが、その構築原理の一つは自己組織化である。その基本となるタンパク質の立体構造はアミノ酸配列によって自動的に決まることは知られていたが、アミノ酸配列から立体構造を予測することは難しく、長年の課題であった。昨年、DeepMind社が発表したAlphaFold2がかなり正確に立体構造を予測できることが話題となったが、自己組織化の仕組みはまだ完全に解き明かされたわけではない。今後の課題をお話したい。



### 「デジタルウェルビーイング」

 坂部 創一 先生

近年、情報機器やインターネットを利用する機会が増加するなかで、過剰利用等によるQOL(Quality of Life)の低下を抑制しながら、いかにQOLを向上させるかというデジタルウェルビーイングの視点の重要性が増しつつある。今回は、その研究の一環となる分析(科研費の小区分の社会システム工学関連)の研究事例を紹介し、その分析におけるデータサイエンシ的な手法の適用方法についても説明したい。



メールアドレスの★を@に変えてください

問い合わせ先

伊藤和義 : kazuyoshi★soka-u.jp

研究所 HP : <https://www.soka.ac.jp/glycan/>

